

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.N	学部・学科	国際総合科学部 国際総合科学科
学年	4	派遣国	ハンガリー
派遣大学	エトヴェシュローランド大学		
期間	2021年 9月 7日～ 2022年 8月 29日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	アパート(1度引っ越しをしたので①②があります)					
部屋	2人部屋					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 ( ①26200/②23000—24000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	( ①トラム ) で、約 (①30 ②25) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	15000円	週1-2回の外食含む。基本は自炊。
学用品購入費	1000円	教科書を買うことはほぼありませんでした。
交通費	1200円	学生用のパス購入で1か月交通機関は乗り放題です。
交際費	4000円	美術館、カフェ、国内小旅行など
その他	3000円	・日用品。①のアパートではフラットメイトと洗剤やトイレトペーパーを交代制で購入していました。 ・通信費。プリペイド式のSIMに使用したいデータ分だけチャージ(月1000円ほど)
<b>合計</b>	<b>24200円</b>	*概算で記録してください。

## (2) 治安状況・危険地域など

基本的にはブダペストは安全です。夜遅くにフラットメイトと2人で出歩くことがありましたが、特に問題ありませんでした。市内でも治安が悪いと言われているのは8区にあるBlaha Lujza Ter周辺です。このエリアは夜になるとホームレスや物乞いが多くなるので、狭い道に入らない、1人で出歩かないことをお勧めします。基本的に市街地のメトロの駅周辺は夜になるとホームレスの人が集まっているので、あまり近づかないようにしていました。

## 3. 医療について

### (1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ( )		
加入期間	( 11 ) ヶ月間	保険料	( 125230 ) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	( ) ヶ月間	保険料	( ) 円

## 4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ( **ブダペスト** )

ブダペストの首都であり、交通の便、治安、物価のどれをとってもとても住みやすい街でした。東・中央ヨーロッパでは最も大きな都市の1つ。ブダペストの人口は174万人、周辺のブダペスト都市圏(通勤圏)の人口は約330万人です。大きさは525平方キロメートルです。ドナウ川を挟んだブダとペスト2つの町の名称を組み合わせたもので、1873年に町が合併され1つになりました。ペスト側には、レストランや商業施設などが集まっており、多くの学生はペスト側に住んでいます。ほとんどの観光地もペスト側に位置しています。ブダ側は、ペスト側よりも地価が高く、各国大使館や高級住宅地が多いイメージです。他のドナウ川の夜景は「ドナウの真珠」と呼ばれるほど素晴らしく、多くの観光客がクルーズ船を楽しみます。共通語はハンガリー語ですが、カフェやレストランでは英語が通じますし、ハンガリー人の若者は英語を話せます。また、交通機関でもハンガリー語の後に英語のアナウンスが流れたり、駅の構内案内に英語の表示があったり、観光客にも優しい都市であると言えます。トルコなどの中東の国からの移民に加え、中国系、ベトナム系の移民の方も多いため、街中にはアジア料理店も多く立ち並んでいます。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

大学	エトヴェシュローランド大学	所在地	ブダペスト
最寄空港	リストフェレンツ国際空港	空港からの距離	バスで1時間
空港⇄大学	(バス 200/100E→バス M3(メトロ3が改装中のためバス利用だが、通常ならメトロ)→トラム 4/6) *移動手段		
学生数	27000人(学部生 16000)	留学生数	? 60か国以上からの留学生
学部	法学部 Bárczi Gusztáv 特別支援教育学部 人文学部 情報科学部 教育・心理学部 小学校・保育園教師訓練学部 社会科学部 理学部  *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	社会学部国際関係学部  *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

### 2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 1 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	予習	予習	10:00-12:00 授業@オンライン	8:30-10:00 授業@大学	8:00 授業@オンライン
	自炊	自炊	自炊	大学の図書館で 勉強(今週の課題など)	家の近くの図書館 で勉強(今週の課題 など)
午後	予習	12:00-13:30 授業@オンライン	自由時間	16:00-18:00 授業@オンライン	自由時間
	18:00-18:45 授業@大学	16:00-18:00 授業@オンライン	予習	18:00-18:45 授業@大学	フラットメイトと ごはん
	予習	予習	自炊	自炊	

② ( 2 )月～( 7 )月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	就活	10:00-11:30 授業@オンライン	10:00-11:30 授業@オンライン	就活	就活
	予習 自炊	予習 自炊	予習 自炊	自炊	自由時間 自炊
午後	自由時間	自由時間	予習	12:00-13:30 授業@オンライン	予習 就活
	予習	予習	自由時間	16:00-17:30 授業@オンライン	ボランティア活動
	就活	自炊	自炊		自炊
	自炊				

3. 履修内容

科目 (和訳)	国際社会の歴史と理論		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容/形態	オンライン。国際関係学における国際社会の歴史や仕組みを学ぶ。与えられた文献を読み、事前にアップロードされた講義動画を視聴した上で、火曜日の授業時間内では、文献と講義動画の中の疑問点を先生に質問することができる。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目 (和訳)	現代の社会課題		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容/形態	少人数セミナー型の授業。オンライン。今日における社会問題について映画や短いドキュメンタリーなどを通して学ぶ。視聴した作品は、『Siege on Liperti Street』, 『Papicha』, ショートフィルム (コロナウイルスにおけるホームレスの現状、コロナウイルス流行当初の中国の状況) など。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	EU 政策		
履修期間	春学期	単位数	4
授業内容／形態	オンライン。EU における政策についての理解を深める。大半は貿易やヨーロッパの経済市場についてであるが、ハンガリー国内の政策にも触れるので、それぞれを比較しながら学びを深めることができる。事前に読んでくる文献あり。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	政治学入門		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	オンライン。政治学について基礎的な理論から近年のニュースまで幅広く学ぶ。事前に文献を読み込んだ上で講義に臨むことが推奨されている。リアルタイムでの講義だが録画されたものを後から見直すことが可能。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	青年学		
履修期間	春学期	単位数	4
授業内容／形態	オンライン。青年期について、社会学的な視点から考察する。青年犯罪やソーシャルメディア、メンタルヘルスなど、若者が直面する社会問題を交えてディスカッションを中心に学ぶ。期末試験はエッセイ中心だがオンラインで受験する。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	環境学と政策的な国際協力		
履修期間	春学期	単位数	6
授業内容／形態	今日の環境問題と国際協力、政策について学ぶ。授業は開講されず。毎週先生からその週のトピックについてのプレゼンテーションがメールで送られてくる。資料を読み込み、要約ベースのレポート（2 ページ）を各週提出する。レポート提出後は先生からのフィードバックが送られてくる。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	ハンガリー語		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	オンライン。10 人ほどのクラスでペアワークなどもあり、毎回発言する時間があります。中級のクラスで、基本的な語彙や表現に加え、レストランでの注文などの会話を学ぶ。期末試験はプレゼンテーションと筆記試験。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目（和訳）	民族間関係		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	授業、テストともにオンライン。マイノリティとマジョリティの民族の関係や多文化共生社会、ハンガリーの少数民族について文化や政治、社会学など様々な視点から学ぶ。毎週 10～20 ページほどの文献を事前に読み込む。		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

## 【総括】

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

2年次に参加した留学がコロナで中止になり悔しい思いをしたことから、1年間の留学を決定しました。どうせ行くならまだ大学から誰も行ったことがない国にしようと、その年から協定が始まったハンガリーを選びました。はじめは英語圏でない国に長期滞在したことがなかったので、渡航直前は不安を感じていましたが、そんな不安は渡航してすぐになくなり、留学を終えた現在はハンガリーを選んでよかったという想いでいっぱいです。

私がこの留学を通して学んだことは、大きく分けて2つあります。1つ目は、他の国の文化や考え方を尊重することの大切さです。ポルトガル、フランス、メキシコ、ウクライナ、アゼルバイジャン、ジョーダン、タイ、ウクライナ、トルコ、ブラジル、パレスチナなど、多くの国の学生とフラットシェアをしてきたので、ヨーロッパだけでなく世界中の国の文化や習慣、考え方について学ぶことができました。自分の日本人としての習慣や考え方を当たり前と思わず、時には常識を疑ったり、新しい価値観を受け入れたりするいい機会になりました。今でも連絡を取り合うほど気の合う友人が世界中にできたのは、自分にとってかけがえのない財産になりました。2つ目は、失敗を恐れない挑戦心です。私はアメリカ留学の時に、英語が下手で話のが怖いと思った時期がありました。その後は日本で英語力の向上に努めてきましたが、ハンガリーに渡航した後も、はじめは授業についていくのに必死で、時には自信を無くしてしまうときもありました。完璧な文法や発音でない英語で話すのが恥ずかしいと思っていた時期もありましたが、様々な人種が集まっているヨーロッパでは、ノンネイティブはアクセント、文法の間違ひがあるのは当たり前です。そうした環境のおかげで、間違ひを恐れずにコミュニケーションを取ることを優先して考えるマインドが生まれました。それからは積極的に口数を増やすようになったので、英語力も伸びた気がしています。英語に限らず、どんなことにも失敗を恐れず、まずはチャレンジしてみるという考え方が、この1年間で身に付いたと思います。

また、4年次後期に留学したので、留学中に就職活動も並行してオンラインで行いました。8時間の時差がある中、夜中の2時、3時に起きて面接を受けたり、説明会を受けていたのも今ではいい思い出です。大学の勉強と両立するのは大変でしたが、目の前にあるタスクに優先順位をつけて、順にこなしていくマネジメント力も身に付きました。

名前しか知らなかった国のハンガリーに留学して、たくさんの素晴らしい人に出会い、様々な経験ができたのは、大学での1番の思い出です。詐欺に遭うなどのトラブルもありましたが、大きなケガや病気もなく、1年間元気に過ごせてよかったです。コロナ渦の留学でしたが、ヨーロッパでは幸いに後半から規制が大幅に緩和されていたので、多くの国に旅行することができました。学生のうちにいろいろな国に行って、たくさんの文化や美しい景色に触れることができたことも一生の思い出です。初めての派遣だったからこそ、わからないことも多く、情報収集には苦労しましたが、そのおかげで準備期間も含めて内面的に大きく成長できた留学でした。留学中も常にサポートしてくれた家族や友人、推進室の皆様には感謝しています。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

この1年で培ったスキルは、今後も伸ばし続けていきたいです。英語力はもちろん、他者の異なる考え方を受け入れたり、柔軟に考える力も身に着けることができたと思っています。また、世界で最も難しい言語の1つであるハンガリー語を学んだこと、3か国語を話すヨーロッパの友人に多く出会ったことから、外国語を学ぶことへのモチベーション向上にもつながりました。現在は、ハンガリー語に加え、スペイン語と韓国語を学んでいます。

また、大学の授業で、これまで横市で学んだことのないような学問領域の授業を受けたことがきっかけで、経済やマーケティングなどの分野にも興味を持つようになりました。これからも、自分が面白そうと思ったことは積極的に吸収できるような人でありたいと思います。卒業論文の執筆に向け、国際関係学の視点に限らず、1つのことを様々な角度から見て考えられるように、留学にて培った広い視野を今後も大切にしていきたいです。

留学中に就職活動を終え、来年の4月からは民間企業にて、営業職として働く予定です。3, 4年後に海外営業として戦力となるために、英語力を落とさず、今後も学習を継続していきたいです。また、他の言語の学習にも挑戦していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

英語圏でない国に留学することに不安を抱えるかもしれませんが、アカデミックな英語に加えて、日常会話レベルのハンガリー語も習得できたのは、私にとって大きなプラスとなりました。スーパーや薬局では英語が通じないこともあります。事前に必要な商品の名称を調べて、わからないことがあればスマホを使いながら尋ねるなどの工夫をしました。アジア人も多いので、日本食材の調達や日本食のレストランには困らなかったこともブダペストによかったことの1つです。大学のレベルが高いので、授業についていくのははじめは少し大変かもしれませんが、予習復習を欠かさず毎日コツコツ続けることが大切です。授業の先生方や大学のサポートチームも優しいので、わからないこと、不安なことがあれば、授業のことに関わらず、相談するのもいいかもしれません。

私が苦労したのは物件探しです。大学の寮に入れず、渡航前に自分でアパート探しをしました。大学の寮の抽選結果がわかるのが(私の場合)渡航まで2か月を切った後だったので、そこから0から物件をネットで探すのは大変でした。万が一寮に入れなかったことも想定して市内のアパートも少し見ておくことをお勧めします。寮は安心ですが、実際大学のキャンパスからは遠く、設備も古い(大学の友人談)ため、個人的にはアパートを借りることにしてよかったなと思っています。市街地でも3万円前後で物件が見つかります。必ず不動産会社のサイトを通して契約するようにしましょう。また、留学生のフラットメイトは入れ替わることもあるのでたくさんの国の人と暮らす経験ができてとても楽しかったです。

日本人のフルタイムの学生も多い(医学部生がたくさんいます)ので、現地の日本人と知り合う機会もあると思います。しかし、1年という短い期間で非英語圏において英語を上達させるには、日本人だけで固まらず、多くの人と関わるのが最重要だと思います。多くの大学が集まるブダペストでは、ヨーロッパの各国から来たたくさんの留学生に出会うことができます。そのような環境を有効活用し、たくさんの文化、言語に触れて有意義な留学生活を送ってください。ハンガリーは物価も安く、周辺の国にもアクセスが良く、街では英語も比較的通じるので、本当におすすめです。

みなさんの留学がよいものになることを祈っています！